

アジアの政治と経済	履修年次	1	
	単位	2	
周 偉嘉	配当期	前・後	
	授業方法	講義 / On-D	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>本科目はアジア経済の成長がますます進む実態を探究する。戦後日本経済発展の奇跡はアジアの新時代を作り出し、アジアの躍進を牽引してきた。2019年6月に国連の『世界人口予測 2019年改定版』によると、世界の人口約77億人の6割がアジアに住んでいるという。世界経済におけるGDP規模で見たアジア地域のシェアはすでに30%を超えている。本授業では、この大きく変貌するアジア地域を、学際と地域研究の理論的枠組みにより、具体的に東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジアと西アジアというように、地域ごとに学習してゆく。オンデマンド型の授業は皆様が所有する機器や通信環境に配慮して、オンデマンド(manabaに連動)の授業を行う。授業は当初の授業時間割とするので、ご留意願う。受講者は配信の添付ファイルを開いて、Access先にパスワードを入れてご受講願う。講義は学習管理システム(manaba)にて配信し、受講者がそれらをダウンロードして受講する形式である。皆様が学修時間を確保し、理解を深めるために、レポート提出や小テスト提出、質疑応答など(manabaの掲示板機能などを用いて)連動して行なう。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・アジア新興国と国際構造の枠組みの変化を理解し、アジアの政治と経済について説明することができるようになる。 ・アジア地域の問題に関心を持ち、アジアの政治経済と日本の関係について分析することができるようになる。 ・アジアの開発と成長、地域紛争、文明的な変遷などの問題を理解し、協働して取り組むことができるようになる。 			
成績評価の方法			
この科目はディプロマポリシーと科目の到達目標に対応して、出席、課題提出、授業外学習、授業の取り組み(PBL学習とアクティブラーニング)、授業外に課すレポートテストなどで評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	導入:新興国の台頭とアジアの政治と経済	8	南アジア地域:南アジアの地域と地域文化圏
2	「アジアの政治と経済」の理論的な枠組	9	南アジア:インドの発展モデルとフラット化する世界
3	東アジア地域:東アジアの文明基層と文化圏	10	南アジアの地域文化と世界的な影響
4	拡大の東アジア:東アジア奇跡と日本モデル	11	西アジアのイスラームとオリエント文化圏
5	東アジア:中国の発展と東アジア新しい枠組	12	西アジア地域の紛争経緯と新たな対立の構図
6	東南アジア:東南アジアと多文化共存の東南アジアモデル	13	西アジア新興国の経済発展と地域の安定化
7	東南アジア:「ASEAN 経済共同体(AEC)」と東アジアの地域統合	14	総復習と自主研究